

Quarterly

高千穂



高千穂大学 広報誌



「大学基準に適合」の認定マーク

Vol.33

2011/7



TAKACHIHO UNIVERSITY



Quarterly 高千穂

Vol. 33 | 2011/7

Contents

3	TAKACHIHO Information 大学基準協会相互評価結果について
4	TAKACHIHO Information 「東日本大震災義援金」への御礼・受付結果及び 配分方法について
5	TAKACHIHO Information 高千穂大学の学内節電に対する取り組みについて 東日本大震災に伴うフレッシューズ・オリエンテーションの中止について
6	TAKACHIHO News オープンキャンパス2011
7	New Books & Review 書籍紹介
8	TAKACHIHO Data Eye 平成22年度 決算の概要
10	TAKACHIHO Report 就職活動情報
12	TAKACHIHO Information 定期試験の注意事項 情報メディアセンターからのお知らせ
13	Seminar Informatin ゼミ I の概要
14	TAKACHIHO Campus Life 学友会コーナー (体育祭、六月祭、高千穂祭、クリーンアップキャンペーン他)
16	TAKACHIHO Report ゼミナール連合本部の活動
17	TAKACHIHO Information 平成23年度 高千穂同窓会総会・懇親会開催
18	TAKACHIHO Information 平成23年度父母の会活動について
19	TAKACHIHO Information 編集後記

大学基準協会相互評価結果について

学校法人 高千穂学園 理事長
平成22年度大学基準協会認証評価
実施本部 本部長 藤井 耐

本学は、2010年(平成22年)4月、大学基準協会による認証評価を受審するため、「自己点検評価報告書」、「大学基礎データ調書」及び、各種添付資料を同協会に提出した。また、2010年(平成22年)10月7日には大学基準協会による認証評価実地視察を受けた。

その後、2011年(平成23年)3月11日付にて、大学基準協会より「大学基準適合」の認証評価結果が通知された。

今回の認証評価は、2003年度(平成15年度)に続く2回目の「第三者評価」であり、ここに得られた認証評価結果は、今後の本学におけるさらなる自己点検・評価に重要な指針となるものである。

ところで、本学の自己点検評価体制は、1997年(平成9年)5月「高千穂大学自己点検評価委員会規程」に基づき発足した。その組織体制は自己点検運営委員会を上位組織とし、その下に自己点検実施委員会を設置し、さらに、自己点検実施委員会の下に基本事項検討委員会、法人事項点検委員会、教学事項点検委員会、事務事項点検委員会を編成している。今回の認証評価においては、自己点検運営委員会の下に位置づけられる自己点検実施委員会を「平成22年度大学基準協会認証評価実施本部」とし、本委員会を中心に、平成16年度より、平成22年度、特に、平成18年度より平成22年度の5年間ににおける法人及び教学分野における全学的自己点検評価を実施するとともに、自己点検評価報告書を作成した。

自己点検評価報告書、大学基礎データ等、大学基準協会に提示した後、書面審査の過程における同協会からの書面質問については、その回答を評価項目別に学内委員会・事務部門により作成し、さらに、理事長・学長確認の上返送した。

さらに、2010年(平成22年)10月7日の実施調査においても、大学基準協会評価委員の御質問に対し、学内関係委員会委員長・事務部長等、総勢39名により真摯なる対応をさせて頂いた。

その結果、上述の通り2011年(平成23年)3月11日付、大学基準協会より「大学基準適合」との認証評価を得ることができた。

平成23年3月31日



「東日本大震災義援金」への御礼・受付結果及び 配分方法について

学校法人高千穂学園	理事長	藤井	耐
高千穂大学	学 長	成田	博
高千穂学園同窓会	会 長	福田	昌夫
高千穂大学父母の会	会 長	松坂	宏造
高千穂大学学友会	会 長	渡辺	一充

本学では、本年3月11日(金)に発生した東日本大震災に対する罹災者支援の一助となるよう、皆様方に対し義援金へのご協力を求めたところ、多くの善意が寄せられました。ここに、当該義援金への御協力に対する御礼を申し上げますと共に、受付結果及び本学罹災学生(家庭)に対する配分方法について以下のとおりご報告いたします。

名 称 「東日本大震災義援金」

募集期間 平成23年4月20日(水)から平成23年5月31日(火)まで

受付方法 ○募 金 箱 学生4号館1階・2階事務局、10号館1階講師控室、
セントラルスクエア・インフォメーションに設置。

○口座振込 学園役員・職員、同窓生等は指定口座へ振込。

受付金額	・ 大学	1,450,000	円
	・ 幼稚園	200,000	円
	・ 同窓会	600,000	円
	・ 父母の会	300,000	円
合 計		2,550,000	円

配分方法 学園にて決定した以下の配分基準に基づき、本学罹災学生(家庭)に対して義援金を交付する。

被 害 状 況	配 分 額
全 壊 ・ 全 焼	150,000 円
半 壊 ・ 半 焼	80,000 円
一 部 損 壊 (軽微損傷含む)	30,000 円

◎被害状況の確認は、全て罹災証明書、あるいはそれに代わる書類をもって行います。

◎上記基準に基づき義援金を配分し、今後の新たな申請者も想定し、残金は留保いたします。

◎義援金の交付は、別紙申請書(証明書添付)の提出に基づき、保証人指定の銀行口座への振り込みをもって行います。

(お問い合わせ先) 総務部 総務課

高千穂大学の学内節電に対する取り組みについて

東日本大震災により東京電力管内の電力供給量は大幅に減少し、私たち一人ひとりができる限り節電をしていかなければなりません。そうした中で、学内でも各所に節電のお願いを呼びかけるポスターを掲示しています。エアコンの使用は控え、使用する場合でも設定温度は高め(28℃)に、教室を使用した後は照明のスイッチをOFFにするなど、皆さんのご協力をお願いします。また、職員の服装もクールビズを敢行し、節電を心がけておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。



<http://setsuden.go.jp/>

節電

にご協力ください

東日本大震災による電力供給不足に対応するため、経済産業省より以下の期間、電気の使用制限が行われる旨の通知がありました。

制限期間・・・7月1日から9月22日まで

同制限に対応するため、構内の設備を使用する一人一人が不要な電気や空調設備の使用を控える等、全学的に節電に取り組む必要があります。

皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

- ◆使用しない部屋の電灯や空調機器は電源を切りましょう。
- ◆空調機器の温度は28度に設定しましょう。
- ◆不要な電子機器の使用はできるだけ控えましょう。

平成23年7月1日

高千穂学園

東日本大震災に伴うフレッシュャーズ・オリエンテーションの中止について

平成23年4月5日～7日に実施を予定していました「フレッシュャーズ・オリエンテーション(新入生学外オリエンテーション)」について、3月11日に東日本大震災が発生し、その後余震も続くなかで、学生の安全面を最優先に考え学外での実施を中止し、学内にてオリエンテーションを実施いたしました。

そこで、フレッシュャーズ・オリエンテーション実施経費として納付された1万円は、秋学期の学費に充当させていただきます。また、秋学期学費(1万円減額)の払込用紙は8月下旬(納入期限9月末日)の発送予定となっております。

なお、保証人の方へは別途郵送にてご案内いたしておりますのでご確認くださいようお願いいたします。

オープンキャンパス 2011

「体感する高千穂の日」

今年のオープンキャンパスについて説明する前に、まずは、3月11日の東日本大震災による被災地の高校生をはじめとする皆様方に心よりお見舞い申し上げます。本学も、新しい大学ガイドブックがGWに完成しましたが、被災地の高等学校への送付を控えておりました。5月中旬に福島県原発地域の高等学校の状況が新聞等で報じられたのを機に、直接高等学校へ連絡し、お見舞いを伝えるとともに資料送付の確認をさせていただいたところ、高等学校の先生から、「ぜひとも、被災地の高校生にも情報を提供していただきたい。」とのお返事をいただきました。

そのような状況でスタートした今年のオープンキャンパスですが、地震の関係で3月下旬のオープンキャンパスを中止した反動とでも言いましょうか6月19日(日)の初回オープンキャンパスは、高校生、ご父母を合わせて昨年以上の方々にご参加いただきました。今後の予定は7月10日(日)、8月1日(月)、21日(日)、9月17日(土)、10月23日(日)、12月3日(土)、3月18日(日)の7回です。ただし、7月から9月のオープンキャンパスは電力不足等による関係で、内容の変更や、学内の照明や空調を抑制したものとなる可能性もあり、皆様にはご迷惑をおかけする場合があるかもしれませんので、事前に大学のホームページでご確認をお願いいたします。

さて、従来のオープンキャンパスは定番のメニュー+模擬授業といった内容でしたが、今年のオープンキャンパスはアクセントをつけた内容を計画しています。例えば、7月は「AO入試直前相談会」として、これまでは大枠の中のコンテンツであった「AO入試説明」を独立したコンテンツとして、本学のAO入試の4つの型(評定型、商業高校・専門高校型、スポーツ活動型、一般型)の趣旨と求める受験生像、選考方法とその対策(エントリーシートの注意点、面接対応等)についてじっくり説明します。次に、8月の2回ですが、この2回は最も多くの方が参加されますので、学部別の模擬授業ではなく、各コース・専攻別の模擬授業とし「学びをより深く理解する」ための回としました。次に、10月ですが、翌月の推薦入試を考えている受験生のために「推薦入試直前相談会」として、特に面接対策に重点を置いて説明します。最後に12月ですが、年明けからの一般入試を受験する方に「一般入試直前相談会」として、本学の一般入試の方式の説明、昨年のデータをもとにした解説等を行います。

これ以外にも、従来の父母対象説明、個別相談、在学生による学生生活説明、キャンパスツアー、学食体験等で、受験生の「？」を「！」に変える内容で実施します。



キャンパスツアー



個別相談



高校生の質問に答える学生スタッフ

図書館員が選んだこの3冊



『乾燥標本収蔵1号室 一大英自然史博物館 迷宮への招待』

フォーティ, リチャード〈Fortey, Richard〉著

渡辺 政隆、野中 香方子 訳

[NHK出版・2,625円] (2011年4月25日 出版)

ISBN:9784140814734

博物館には、別の顔がある。

展示室の裏側に縦横に広がる巨大な迷路、人目に触れることのない秘密のコレクション、繭のような小部屋で一心不乱に研究にのめり込む人々。

なかでも世界最大級の大英自然史博物館には、ここでしか通用しない大原則がある。

いわく、「なにものも永遠に捨ててはならない」「おしゃれをしてはならない」「粗忽者と言われるくらいがよい(研究以外では)」。

古生物学の世界的権威である著者が、30年間を過ごした古巣の素顔と、そこに生息する浮世離れした住人たちの姿を、軽妙な語り口で綴った「大英自然史博物館全史」。

『こちらあみ子』

今村 夏子 著

[筑摩書房・1,470円] (2011年1月10日 出版)

ISBN:9784480804303

風変わりな少女、あみ子の目に映る世界を鮮やかに描き、小川洋子、三浦しをん、荒川洋治の絶賛を受けた第26回太宰治賞受賞作。書き下ろし作品「ピクニック」を収録。

「好きじゃ、と叫ぶ度に、あみ子のところは容赦なく砕けた。好きじゃ、好きじゃ、好きじゃすきじゃす、のり君が目玉を真っ赤に煮えたぎらせながら、こぶしで顔面を殴ってくれたとき、あみ子はようやく一息つく思いだった」

(筑摩書房HPより引用)



『資生堂という文化装置 1872-1945』

和田 博文 著

[岩波書店・5,460円] (2011年4月26日 出版)

ISBN:9784000234887

西洋的な都市景観が出現した東京銀座で、洋風調剤薬局として創業した資生堂は、モダン文化の核となる。

そして関東大震災からの復興後は、パリのイメージを背景に、モード・ファッション・化粧・髪型から、商業デザイン・美術・食文化まで、一層幅広い都市文化を発信してゆく。

「大東亜戦争」によって、その役割を終えるまでを、豊富な資料と図版で解き明かす決定版。

引用:紀伊國屋書店BookWeb

平成22年度

決算の概要

■ 経営状態

企業会計の損益計算書に相当する消費収支計算書（別表2）で、平成22年度と平成21年度を比較しながら、本学の経営状態を説明します。

収入のうち、学生生徒等納付金は、46,331千円増の2,474百万円となりました。平成19年度に新設した人間科学部が完成年度を迎え4年生まで揃い増収となりました。

手数料は4,068千円減の40百万円となりました。主な手数料である入学検定料が、志願者の減により減少しました。

寄付金収入は、従来の父母の会等からの寄付に加え幼稚園に大口の現物寄付があり、2,197千円増の9百万円となりました。

補助金収入は、外国人留学生向けの補助金が廃止された一方で、幼稚園で障がい児を受け入れたことによる補助金の増加があり、補助金全体として2,714千円増の269百万円となりました。

資産運用収入は、利金が為替レート等に依存する債券の運用収入が低下し、52,096千円減の108百万円となりました。

平成22年度は日本留学生試験実施経費3,417千円の事業収入がありました。

雑収入は、科学研究費補助金の間接経費や幼稚園の未就園幼児教室・預り保育の収入が増加し、退職金支出に応じて交付される退職金団体交付金も増加したこともあって、34,444千円増の145百万円となりました。

以上述べてきた収入の合計である帰属収入（企業会計の収益に相当）は、30,228千円増の3,048百万円となりました。

学校法人が教育・研究水準を維持・向上していくために必要な資金として帰属収入の中から組み入れた基本金の額は269,688千円減の354百万円でした。

登戸グラウンド・幼稚園舎の取得のための借入金の返済分や、備品・図書等の取得額、将来の校地・校舎の取得に備えるための計画的な特定資産への組入、奨学金の原資となる育英基金への組入れ等が主なものです。

帰属収入から基本金組入額を差し引いた消費収入は、239,460千円増の2,694百万円でした。

支出のうち、人件費は、主として退職金の増加により、18,705千円増の1,491百万円となりました。

教育研究経費は、幼稚園舎改築に伴う諸支出が21年度で終了したことや、償却期限が過ぎた資産が多く減価償却額が少なかったこと等により、98,641千円減の780百万円でした。

管理経費は、21年度と比べ12,169千円減の201百万円となりました。

借入金等利息は、幼稚園舎新築と登戸総合グラウンド取得のための借入金の利息を計画通り支払ったものです。

資産処分差額は、有価証券の評価替えに伴う評価差額が154百万円発生し、21年度に比べ6,513千円増の160百万円となりました。

これらの支出の計である消費支出（企業会計の費用に相当）は、86,406千円減の2,635百万円でした。

消費収入から消費支出を差し引いた消費収支差額は、59百万円の収入超過（黒字）となりました。

$\{(\text{帰属収入} - \text{消費支出}) / \text{帰属収入}\}$ で表される帰属収支差額比率は、高いほど教育・研究の充実に振り向ける資金的余裕があり経営的に安定しているとされますが、21年度と同規模の私大の平均が△7.9%だったのに対し本学の22年度の比率は13.5%となり、安定した経営状態であることを示しています。

■ 財政状態

学園の財政状態を、貸借対照表（別表3）を基に説明していきます。

校地・校舎・機器備品・図書等の有形固定資産は、6,965百万円でした。大きな工事等がなかった一方で、減価償却を進めたため、113,460千円減少しました。

将来の土地・建物・機器備品の取得に備えた特定資産は計画通りに繰入れて、その他の固定資産は451,600千円増の5,506百万円となりました。

現金・預金や有価証券等の流動資産は、5,506百万円でした。

負債は、幼稚園舎新築と登戸総合グラウンド購入のための借入金の残高327百万円、23年度の納付金収入となる前受金が1,138百万円、退職金の支払に備えた退職給与引当金が648百万円等となっています。退職給与引当金は、必要額の100%が計上されています。負債の総額は162,039千円減の2,276百万円と

なりました。

基本金は、自己資金で取得した校地・校舎・機器備品・図書等の取得額である第1号基本金が11,034百万円、将来の校地・校舎取得等に備えた資金である第2号基本金が2,330百万円、育英基金の原資となる第3号基本金が676百万円、1ヶ月分の運転資金に相当する第4号基本金が196百万円の計14,236百万円となりました。

23年度に繰越す消費収入超過額の累計額は、1,465百万円となりました。

以上見てきたとおり、経費の節減等により、平成22年度は収入超過の決算となりました。しかしながら、18歳人口の減少や資産運用益が見込みにくい等の、学園経営にとって厳しい環境が見込まれますので、より一層の経営努力をしていきます。

■資金収支計算書（別表1）

（単位：千円）

支出の部				収入の部			
科 目	金 額			科 目	金 額		
	平成22年度	平成21年度	増減		平成22年度	平成21年度	増減
人件費支出	1,493,933	1,474,167	19,766	学生生徒等納付金収入	2,473,640	2,427,309	46,331
教育研究経費支出	548,938	620,725	△ 71,787	手数料収入	40,250	44,318	△ 4,068
管理経費支出	180,100	188,470	△ 8,370	寄付金収入	6,037	5,831	206
借入金等利息支出	4,446	5,260	△ 814	補助金収入	268,763	266,049	2,714
借入金等返済支出	64,440	64,440	0	資産運用収入	107,657	159,753	△ 52,096
施設関係支出	21,749	218,509	△ 196,760	資産売却収入	354,853	1,492,106	△ 1,137,253
設備関係支出	156,928	164,605	△ 7,677	事業収入	3,417	100	3,317
資産運用支出	1,300,990	1,553,867	△ 252,877	雑収入	145,394	110,954	34,440
その他の支出	98,594	92,478	6,116	前受金収入	1,137,521	1,199,169	△ 61,648
資金支出調整勘定	△ 67,003	△ 137,705	70,702	その他の収入	644,428	1,071,234	△ 426,806
次年度繰越支払資金	4,766,568	4,709,155	57,413	資金収入調整勘定	△ 1,321,432	△ 1,287,857	△ 33,575
支出の部合計	8,569,683	8,953,971	△ 384,288	前年度繰越支払資金	4,709,155	3,465,005	1,244,150
				収入の部合計	8,569,683	8,953,971	△ 384,288

■消費収支計算書（別表2）

（単位：千円）

消費支出の部				消費収入の部			
科 目	金 額			科 目	金 額		
	平成22年度	平成21年度	増減		平成22年度	平成21年度	増減
人件費	1,490,551	1,471,846	18,705	学生生徒等納付金	2,473,640	2,427,309	46,331
教育研究経費	779,996	878,637	△ 98,641	手数料	40,250	44,318	△ 4,068
管理経費	200,525	212,694	△ 12,169	寄付金	8,707	6,510	2,197
借入金等利息	4,446	5,260	△ 814	補助金	268,763	266,049	2,714
資産処分差額	159,637	153,124	6,513	資産運用収入	107,657	159,753	△ 52,096
消費支出の部合計	2,635,155	2,721,561	△ 86,406	資産売却差額	0	2,611	△ 2,611
当年度消費収支差額	59,050	212,104	△ 153,054	事業収入	3,417	100	3,317
翌年度繰越消費収支差額	1,464,979	1,405,929	59,050	雑収入	145,398	110,954	34,444
				帰属収入合計	3,047,832	3,017,604	30,228
				基本金組入額	△ 353,627	△ 83,939	△ 269,688
				消費収入の部合計	2,694,205	2,933,665	△ 239,460

■貸借対照表（別表3）

（単位：千円）

資産の部				負債・基本金・消費収支差額の部			
科 目	金 額			科 目	金 額		
	平成22年度	平成21年度	増減		平成22年度	平成21年度	増減
固定資産	12,471,364	12,133,224	338,140	固定負債	926,364	1,016,857	△ 90,493
有形固定資産	6,964,994	7,078,454	△ 113,460	長期借入金	262,200	326,640	△ 64,440
土地	1,155,093	1,155,093	0	退職給与引当金	647,544	650,926	△ 3,382
建物	4,129,308	4,271,497	△ 142,189	その他	16,620	39,291	△ 22,671
機器備品	300,403	279,620	20,783	流動負債	1,349,353	1,420,899	△ 71,546
図書	1,280,484	1,256,818	23,666	短期借入金	64,440	64,440	0
その他	99,706	115,426	△ 15,720	前受金	1,137,521	1,199,169	△ 61,648
その他の固定資産	5,506,370	5,054,770	451,600	その他	147,392	157,290	△ 9,898
施設充実引当特定資産	2,330,440	2,180,440	150,000	負債の部合計	2,275,717	2,437,756	△ 162,039
育英基金引当資産	676,034	653,635	22,399	基本金	14,236,361	13,882,735	353,626
退職給与引当特定資産	655,780	655,780	0	第1号基本金	11,033,881	10,852,653	181,228
その他	1,844,116	1,564,915	279,201	第2号基本金	2,330,446	2,180,447	149,999
流動資産	5,505,693	5,593,196	△ 87,503	第3号基本金	676,034	653,635	22,399
現金預金	4,766,568	4,709,155	57,413	第4号基本金	196,000	196,000	0
有価証券	599,492	775,754	△ 176,262	翌年度繰越消費収支差額	1,464,979	1,405,929	59,050
その他	139,633	108,287	31,346	合 計	17,977,057	17,726,420	250,637
合 計	17,977,057	17,726,420	250,637				



就職支援Webシステム“求人NAVI”導入開始

本年度より、就職活動をよりスムーズに行ってもらうために就職支援システムを一新しました。すでに、多くの皆さんが利用しておりますが、是非この機会に積極的な活用をしてもらうために、“求人NAVI”の活用方法をご紹介します。

- 1、本学に届く求人票がいつでも検索・閲覧できます。
2012年3月卒業者向け求人件数 6月27日現在 3,652件
- 2、「進路希望調査」のWeb登録を行います。
3年生の皆さんは必ず行ってください。
- 3、就職に関する情報がメール配信されます。
- 4、各種支援行事にWeb予約できます。
学内で開催される個別企業説明会・選考会への参加予約も簡単にできます。
- 5、個人面談のWeb予約ができます。
- 6、就職活動体験記が検索・閲覧できます。
- 7、進路が決定したら、「進路報告」のWeb登録を行います。
4年生の皆さんは必ず行ってください（現在、活動中の皆さんも対象となります）。



求人 NAVI 画面

就職活動中の皆さんへ

東日本大震災の影響により、参加予定の会社説明会等の中止や再開未定となったことを理由にそれ以後の活動を中断していませんか？ 先般、主な企業の震災後の採用活動状況について、調査報告が発表されました。

●震災による採用計画数への影響

多くの企業（81.5%）が採用計画数に変更なしと回答しています。例年に比べれば多少悪化はしているものの、劇的に落ち込んでいることはありません。

●震災後の採用選考時期について

大手企業を中心に5・6月へ選考を延期している企業も目立ちます。（従業員1,001名以上の企業の43%）震災直後は、被災地の学生のみを別対応を表明する企業がほとんどでしたが、3月後半より全学生に対して選考延期を発表する企業が続出しました。被災地への配慮もありますが、公共交通機関の正常化時期や計画停電の行方の不確かさにより3・4月における会社説明会の相次ぐ中止なども影響しています。

※企業への調査はHRプロ㈱が企業528社へ対して実施しました（調査時期：2011年4/22～5/11）

例年より遅れて開始・再開した企業や、これから採用活動を開始する企業も多いことから今こそ“行動を起こす時期”です。就職支援課は夏休みも業務をしておりますのでお気軽にお越しください（8月中の業務日時は予めご確認ください）。

実施日程	行 事	ポイント
7/19(火)	就活リカバリー講座	就職活動の振り返り
7/20(水)～7/22(金)	個別相談会	個別相談と求人情報



学内合同企業説明会 6/28 実施

この他にも学内にて“個別企業説明会・選考会”も実施しています。また、9月以降も随時実施する予定です。詳細については求人NAVIのお知らせコーナーをご参照ください。

3年生対象・就職活動支援行事が始まりました

就職委員会・就職支援課では、“個別相談”に重点をおいています。本年度も全3年生を対象とした“春の進路相談会”が6月13日から2週間にわたり実施いたしました。卒業後の進路について考える第一歩として、一人で悩まないよう就職委員の先生方や就職支援課の職員が共に考える場となりました。進路相談会を皮切りに、就職支援行事も本格的に始まりました。就職活動の準備をしっかりとするためにも必ず参加しましょう。



進路相談会会場



進路相談会の様子



自己分析講座 6/28 実施

平成23年度 就職活動支援行事

実施日程			行 事	1・2年生 参加可能	ポイント
9/27	火	10:40～12:10	就活ガイダンス		就活の流れを再確認
10/4	火	10:40～12:10	一般常識テスト		筆記試験の実力確認
10/11	火	10:40～12:10	中小企業研究講座	★	職業選択肢を広げる
10/18	火	10:40～12:10	OBOG 講座	★	社会人の心構えを学ぶ
10/25	火	10:40～12:10	グループ体験講座	★	体験学習
11/1	火	10:40～12:10	企業分析対策講座		企業の調べ方を学ぶ
11/14	月	11:00～16:00	秋の進路相談会 ～18日（金）		進路相談とアドバイス
11/15	火	10:40～12:10	就職活動体験報告会	★	就活の実情を知る
11/22	火	10:40～12:10	採用試験面接対策講座		選考ポイントの確認
11/22	火	16:30～18:30	採用試験面接対策講座（実践編） ～25日		体験学習
11/29	火	10:40～12:10	インターンシップ報告会	★	実習報告
12/6	火	10:40～12:10	就活マナー対策講座		面接ポイント再確認
12/6	火	13:00～15:00	Uターン就職相談会	★	各県就職支援担当者との相談会
12/13	火	13:00～16:10	学内合同企業研究セミナー		業界研究と企業との出会い
2/10	金	13:00～16:10	第1回学内合同企業説明会		企業との出会い

定期試験の注意事項

教務部教務1課

春学期定期試験が平成23年7月25日(月)より実施されます。

●定期試験の日程は1号館前に掲示されています(T-navi(学生ポータルサイト)においても配信済みです)

以下の7点は特に注意する項目です。試験前にもう1度「試験規程」を読み確認してください(掲示板・履修要項に記載されています)。**なお不正行為は厳正に処罰されます。**1回の不正行為のために、卒業が遅れたり、場合によっては不可能になる可能性もあります。十分に準備をして定期試験に臨むようにしてください。

試験時間の厳守について

試験規程では開始5分前までに着席することとなっています。試験期間中のみ試験開始5分前に予鈴(チャイム)を鳴らします。試験開始後の試験場への入室は理由の如何を問わず認められませんので十分注意してください。突然の事故による交通機関の遅れも予想されますので、通学時間に余裕を持って試験に臨んでください。

試験期間 平成23年7月25日(月)～7月30日(土)

定期試験 実施時間割

- 1時限目 9:30～10:30
- 2時限目 10:50～11:50
- 3時限目 12:30～13:30
- 4時限目 13:50～14:50
- 5時限目 15:10～16:10
- 6時限目 16:30～17:30
- 7時限目 17:50～18:50

試験教室についての注意

履修者多数の科目、簿記Ⅰ/Ⅱ・経済学A等は学部や担当教員別に試験教室を指示しますので、必ず確認してください。

学生証の提示

試験を受験する際は必ず机上に「学生証」を提示しなければなりません。「学生証」を持っていない場合は受験することができません。当日、「学生証」を忘れた場合は、試験開始時刻前に限り「定期試験受験許可証」を教務1課にて発行します。現在「学生証」を紛失している学生は、速やかに学生課に届け出て再発行の手続きを行ってください(当日の再発行はできませんので注意してください)。

携帯電話等の扱いについて

試験教室では携帯電話等の使用を一切禁止します(時計・電卓としての使用も禁止)。試験教室では必ず電源を切り机上にも置かないでください。携帯電話等を見たり触れたりした場合は不正行為とみなされますので十分注意してください。

持込み資料について

試験では科目担当教員から指示されたもの(問題用紙に記載)以外の持込みは不正行為とみなされます。また、ノート・教科書等のコピー使用については「コピー可」の指示がある場合に限り持込むことができます(なお、各自がパソコン等で作成したノートや資料の持込みについては科目担当教員に確認してください)。また本学図書館の図書は持込み禁止ですので注意してください。

氏名等の記入について

答案用紙には必ずボールペンで氏名・学籍番号を記入してください。毎年無記名答案が数枚見受けられますが、そうした無記名答案は無効となります。答案作成の際は最初に学籍番号・氏名等を必ず記入してください。

追試験について

追試験の申請は「やむを得ない事由」により定期試験を受験できなかった場合に限り、受付けます。当該科目の定期試験日より前または定期試験日から3日以内に、教務1課にて申請してください。なお、追試験の申請には事由の証明書(遅延証明書や診断書など)が必要となるので注意してください。

※追試験期間 8月1日(月)～6日(土)

レポート提出について

科目によっては定期試験の代わりに「レポート提出」を課す科目もあります。提出期限の日時を掲示板にて確認してください。提出先はセントラル・スクエア1Fインフォメーションです。

情報メディアセンターからのお知らせ

コンピュータ室の特別開放について

コンピュータ室の夏季特別開放を次の通り実施します。

期 間	開放時間
7/29(金)までの月～金曜日【通常開放】	9:00～20:00
7/30(土)までの土曜日【通常開放】	9:00～15:00
8/1(月)～8/10(水)の月～金曜日【特別開放】	10:00～14:50
8/22(月)～8/31(水)の月～金曜日【特別開放】	10:00～14:50
9/1(木)～9/20(火)の月～金曜日【特別開放】	9:00～16:00
9/21(水)以降の月～金曜日【通常開放】	9:00～20:00
9/24(土)以降の土曜日【通常開放】	9:00～15:00

*9/19(祝)の開放はありません。

*開放日時は変更になる場合があります。最新の情報は情報メディアセンターホームページで確認してください。

機器の特別貸出について

ノートパソコンなどの機器の夏季特別貸出を次の通り実施します。

貸出日	貸出日数または返却期限
7/30(土)まで【通常貸出】	1週間以内
8/1(月)～8/10(水)【特別貸出】	3週間以内
8/22(月)～9/15(木)【特別貸出】	2週間以内
9/16(金)～9/23(金)【特別貸出】	9/30(金)
9/24(土)以降【通常貸出】	1週間以内

*貸出には「情報メディアセンター利用者票」が必要です。

*平成22年度まで実施していた長期貸出は今年度実施いたしません。

*借受けた機器を紛失や損傷した場合は弁償となります。機器の取扱いは充分ご注意ください。

ゼミ I の概要

教務委員長

寺内 一

「ゼミ I」という授業科目は、本学の全1年生が必ず単位修得をしなければならない最も重要、かつ、基本的な科目です。

学生が学習・生活の両面において主体的、能動的に行動すること、そして将来に向けて自己を確立するという人間形成の一助とすることを目的として、平成14年度に初年次教育の中核として新たな内容によってスタートした科目です。18歳人口の減少や、大学進学率の上昇等による、「大学のユニバーサル化」現象は、学習意欲の低下、進学目的の希薄化、結果としての退学者の増加といった問題を生じさせることとなりました。そのような全学的な問題に対応するため、それまでに培ってきた本学の少人数教育のノウハウと小規模大学故の利点を生かし、従来多くの部分を各教員の裁量に委ねていた教育内容を原則として全クラス同一とし、さらに、各教員には自ら積極的に学生に関わりながら、学習面は当然のことながら、学生の自己認識や将来の目標設定等に関する「アドバイザー」としての役割を担当してもらうこととしました。以下に、「ゼミ I」の授業内容の概要をご紹介します。

平成23年度の「ゼミ I」は、基本的には学部別編成による1クラス約14名、合計で44クラスが開講されています。授業では、次の4つの視点による内容が展開されています。

①スムーズな大学生活への視点

- 学内での友人・仲間づくり、先輩や担当教員との交流
- 社会を構成する一員として必要なマナーやコンセンスを身につける
- 図書館など学内施設の利用方法の説明

②スタディ・スキルの視点

- 文章作成力の養成と効果測定のための課題文の作成（入学前と夏期休業中）
- ノートテイキングのノウハウ等の学習と効果測定のための共同授業等

③課題探求型学習の視点

- 専門科目、専門ゼミの学習へ向けた、問題発見・解決能力、論理的思考能力、コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力の養成と効果測定のための共同授業等

④キャリアの視点

- 一般常識養成のための「ガンバレ高千穂10分勝負」の実施
- 「がんばれ高千穂－キャリア編パワーアップ－」による自己理解等

最後に、前述したアドバイザーとしての役割に関連する「学生生活目標管理シート」と「高千穂マスタープラン」についてご説明します。「高千穂マスタープラン」とは、本学の4年間について、授業・ゼミ、就職活動、学生生活全般の主な行事とその内容を示したもので、学生が4年間の大学生活（いつ、何をといったもの）を計画するために参考となるものです。「学生生活目標管理シート」とは、「高千穂マスタープラン」を参考に学生が設定した目標やその進捗度、そして反省点等について記入し、最低各学期に1度はアドバイザーである教員の助言を受けながら、常に現状を認識し今後の方向性を見極めるための資料となるものです。

以上のような、いくつもの取り組みを行いながら、学生一人ひとりの成長をサポートするための場が「ゼミ I」であり、その基本方針および方法は、2年次以降の専門ゼミにおいても継続して展開されています。



Seminar I

体 育 祭

平成23年6月4日(土)梅雨入り間近で天候が心配されるなか、第42回体育祭が登戸総合グラウンドで開催されました。

競技種目としては、登戸グラウンドの広さを生かし100m走、スウェーデンリレー、ムカデ競争、大縄飛び、綱引き、サーキットリレーなどの大人数でできる種目やドッジボール、玉入れ、借り物競争などの少人数でできる種目など多数の種目が実施されました。

また、体育団体のほかに高千穂祭実行委員会、ゼミナール連合本部、学術文化団体連合会、児童教育専攻ゼミなどの団体も参加し、部活動に所属していない学生も大いに盛り上がる事が出来ました。

なお、今年の結果は第1位に硬式野球部、第2位に体育会

連合チーム、第3位に高千穂祭実行委員会となりました。

毎年、異なった種目で競技がとり行われており、大学生ならではの白熱した体育祭となっています。来年もより一層盛り上げてまいりますので、楽しみにして下さい。



六月祭

学術文化団体連合会主催の六月祭は6月23日(木)～25日(土)の期間開催されました。文連所属の団体が音楽祭・芸術祭・ニューカレッジコンテストの3つのジャンルに分かれ、磨き上げた技を披露し、出場する友人を応援しようと集まった多くの観客を魅了していました。また審査員も学生が務めたことで、アットホーム感あふれるイベントとなりました。



第41回 六月祭 ～団結～ Join	
開催日程	
6月23日(木)	開場式 18:00～18:50
6月24日(金)	ニューカレッジコンテスト 16:30～18:20
	芸術祭 18:35～20:25
6月25日(土)	音楽祭 11:00～16:40
会場 高千穂大学3号館 3101教室	
学術文化団体連合会 会長 委員長 実行委員長 委員 幹事 庶務 第41回6月祭実行委員会 委員長 竹森 浩樹	

高千穂祭

本学の大学祭は、毎年お笑いライブやコンサート、更には部活動やゼミが模擬店を出店するなど高千穂大学が誇る一大イベントです。子供から大人まで楽しみ、学生をはじめ地域住民の皆様や幼稚園生など幅広い来客層となっています。展示物や音楽イベントなど様々なイベントが催されますので、皆様是非お越し下さい。



クリーンアップキャンペーン

8年目となるクリーンアップキャンペーンは、ゼミ所属学生とクラブ所属学生が学友会役員とともに、校内・大学付近の清掃を毎週水曜日の昼休み時間を利用して行っています。



学友会からの お願い

4月に新入生を迎え、学内も活気に溢れています。クラブ活動や授業に夢中になっているのではないのでしょうか。

さて、学内における喫煙マナーですが、ここ数年で改善されておりますが、**未だにポイ捨てや歩きタバコなど喫煙場所以外での喫煙が目立ちます。自分だけの大学ではありません。皆さんが気持ちよく使えるように協力してマナーを守りましょう。**

また、学友会が開催する競技大会をはじめ、高千穂祭やゼミ発表会など積極的に行事に参加してほしいと思います。部活動の仲間やゼミの友達など、皆さんで大学行事を盛り上げていきましょう。

ゼミナール連合本部の活動

ゼミナール連合本部 委員長
商学部3年

熊坂 翔

ゼミナール連合本部とは本学のゼミナール重視の教育方針にのっとり、各ゼミナール活動の活性化及び発展を目標に支援・援助を行っている学友会所属の団体です。

本年度は第37期役員として2年生6名、3年生7名、4年生5名の合計18名で活動しています。

主な活動といたしましては、11月に行われる「ゼミ発表会」に向けて各専門ゼミのゼミ生に連絡をする「ゼミナール連合委員会議」の運営をしています。この会議では、私たち役員がゼミ発表会を円滑に運営するために必要な内容をゼミ生に伝えたり、1年生が次年度の専門ゼミを選ぶために行っている「PRイベント」や「公開ゼミ」の詳細を伝えています。このように私たちは1,000人に及ぶゼミ生の活動をサポートすることを主な活動として日々行っています。

この中でも最も大きな企画として先ほども述べた「ゼミ発表会」があります。このゼミ発表会は他大学に例を見ない、1週間をかけて行う大規模な行事であり、本学の誇れる行事の1つです。

昨年度のゼミ発表会参加パート数は98パートでした。本年度は110パートがゼミ発表会への参加を予定しています。開催予定日は11月7日(月)～11月11日(金)です。

本年度は過去最高のパート数ということで今まで以上に気を引き締めて準備を入念に行っていこうと思います。

学外の活動としては、日本学生経済ゼミナールに加盟

しており、インナー大会の運営のサポートや本学から大会に参加するゼミのサポートを行っています。このような大規模で歴史のある大会の運営に携わることで、他大学のゼミ連協と交流し、親睦を深めることで役員自身の成長もしています。本年度のインナー大会は中央大学で開催されます。

このようにゼミナール連合本部では様々な活動を行っています。各行事の詳細は学内掲示やゼミ連ホームページにてお知らせします。

本年度は各行事に参加者に満足してもらうのはもちろんの事とし、私たち役員もそれぞれが向上心を持ち、納得できるような運営ができるよう努力していきたいと思っています。

皆様の暖かいご声援のほどよろしくお願い致します。



ゼミナール連合本部研修会集合写真

■公開ゼミ (平成23年10月6日～10月14日 及び10月24日～11月22日)	■ゼミPRイベント (平成23年10月3日)	■ゼミ発表会 (平成23年11月7日～11月11日)
「公開ゼミ」とは、来年度専門ゼミ(ゼミⅡ)の履修を希望している学生を対象に、実際の研究やゼミの雰囲気を知ることができるように、普段の専門ゼミを公開し、希望学生が訪問できるという貴重な内容です。専門ゼミを選択する際には多くの資料が配布されますが、実際のゼミ活動をみられるのはこの「公開ゼミ」のみです。ゼミ選択の参考にしてください。なお、各ゼミの時間・教室は時間割もしくは1号館掲示板にて確認してください。	「ゼミPRイベント」とは、2年次に専門ゼミを履修しようと考えている学生を対象に、上級ゼミ生が自らのゼミをわかりやすく、学生視点で紹介、説明、発表を行います。「公開ゼミ」や「ゼミ発表会」で得ることができない情報などが入手できるかもしれません。 なお、この「ゼミPRイベント」は同時開催される「コース(専攻)・ゼミ履修ガイダンス」終了後に続けて行います。	「ゼミ発表会」とは、約30年前から毎年開催されている本校伝統行事で、開始当初よりプレゼンテーション形式による発表会を行っており、他大学等からも高い評価をいただいているものです。この「ゼミ発表会」にはゼミⅡ以上の専門ゼミが日頃研究してきた成果発表を行います。 今年度は99パートが参加します。この「ゼミ発表会」がゼミ申込前最後のイベントとなっています。1つでも多くの発表を聴講し、ゼミ選択の参考にしてください。

高千穂同窓会

平成23年度同窓会総会・懇親会開催

同窓会事務局

平成23年5月21日(土)午前11時から、理事長・学長をはじめ同窓生約70名が出席。新緑が映える大学キャンパスのセントラルスクエア2階タカチホホールで、平成23年度高千穂学園同窓会総会・懇親会が開催されました。

総会に先立ち、この度の「東日本大震災」で犠牲になられた多くの御霊に黙祷を捧げ、議事に入りました。

冒頭、福田同窓会会長の挨拶に続き、藤井理事長から学園の平成23年度事業計画の骨子や大学基準協会の相互評価で「大学基準に適合している」との認定を受けたことについてまた、成田学長からは今年度の卒業生の就職および入学者の状況などについて説明をいただきました。

審議にあたり福田会長を議長に選出、次の4件の議案を上程、説明を金子同窓会副会長が行い、審議の結果すべて承認されました。

1. 平成22年度 事業報告・収支決算
2. 平成23年度 事業計画・予算
3. 大学支援就職ネットワークの運用について
4. 同窓会における個人情報管理規程制定他について

大学支援就職ネットワークの運用について

昨今の厳しい就職環境を踏まえて、大学の就職担当部門と連携しながら、各地区の高千穂会の役員や理事・評議員の協力を得て特に地方出身者への就職支援の体制を発足させます。

同窓会における個人情報管理規程制定他について

同窓会は、業務で取り扱う個人情報の紛失・改竄・漏洩などを防止するために個人情報保護のための遵守事項を制定しました。

学友会優秀団体の表彰

引続き同会場で学友会優秀団体の表彰を行い、会長からそ

れぞれの団体の主将に奨励金5万円を贈呈し、学生からは出席者に対し今後の抱負と謝辞が述べられました。

今回表彰したクラブは「硬式野球部」「アメリカンフットボール部」「スキー部」の3団体でした。

懇親会には120名が参加
福島・岩手県からも同窓生が出席

懇親会は4階のカフェテリアに移動して開催しました。

東日本大震災から2ヶ月余りのこの時期にも拘わらず大きな被害を受けられた岩手・福島・宮城県の同窓生も出席され、地域在住の同窓生の動向などを確かめ合うなど励ましの言葉が交わされていました。

懇親会は、岩手県高千穂会菊池会長(大22回卒)の乾杯の発声で和やかに始まりました。

ゲストでお招きした父母会の松坂会長(大31回卒)には、宮城県仙台からご出席をいただき、復興に向けての強い言葉を交えてご挨拶をいただきました。

今回は、東北の物産を購入し、支援の一助にしようということで、東北3県の銘酒を購入し、皆さんに楽しんでいただきました。

また、萩原先生を囲むゼミ同窓生の集いや、ホームカミング(卒業10年目=平成13年卒)(卒業20年目=平成3年卒)(30年目=昭和56年卒)の出席者の紹介を行うなど、懇親会は大いに盛り上がりしました。

校歌斉唱は大内氏(大36回卒)とチアリーディングの学生によるリードで参加者全員が声高らかに会場内に響きわたりました。

中締めは福島県高千穂会中通分会の八巻会長(大18回卒)の一本締めで無事散会となりました。

以 上



総会



懇親会



萩原ゼミナール



仲間との懇談



ホームカミング



校歌斉唱

Alumni Association

平成23年度父母の会活動について

父母の会事務局

父母懇談会

～9月4日(日)の大学会場から全国9会場で開催～

父母の会で最も力を入れているのが「父母懇談会」です。理事長・学長を初めとする大学教員・大学事務職員が、各地に向いて直接父母の方々と、大学の近況報告や学生の学生生活・成績・就職活動などについて語りあえる機会です。

参加者のアンケートでは、①学生の成績・就職指導、大学のことが良く分かった ②学生の様子が良く分かった ③もっと多くの方が参加すればよい ④親同士の交流が出来てよかった 等が多くみられました。

父母懇談会の主な内容は以下の3つで構成されています。

「文化講演会」-それぞれの会場で本学の教授陣が身近なテーマで講演を行います。子供たちが普段受けている講義を体験できます。

「大学からの近況報告」-理事長・学長からは大学の近況報告を、教務委員会から成績や試験などの4年間の学びに付いて、就職委員会から現状から就職指導について報告があります。

「個別相談」-学生への心配事・大学への疑問等について先生や関係者が個別に相談に応じます。



理事長による近況報告



就職指導についての説明



在学生による就職体験報告



履修についての説明

平成23年度 高千穂大学 父母の会 「父母懇談会」開催地一覧

日程	曜	開催支部	開催都市	開催会場	会場アクセス	
					電話	FAX
1	9月4日	日	東京都	杉並区 高千穂大学	京王線西永福駅 徒歩7分	
			神奈川県		03-3313-0432	03-3313-0432
			千葉県			
			埼玉県			
			山梨県			
			中部ブロック			
			近畿・中国・四国ブロック			
			九州ブロック			
2	9月10日	土	茨城県	水戸市 ホテル みまつ	JR水戸駅 北口徒歩5分	
					029-224-3005	
3	9月11日	日	群馬県	高崎市 高崎ワシントン ホテルプラザ	JR高崎駅 西口徒歩1分	
					027-324-5111	027-324-1648
4	9月11日	日	静岡県	静岡市 ホテルシティオ静岡	JR静岡駅 北口徒歩5分	
					054-253-1105	
5	9月17日	土	栃木県	宇都宮市 ホテルニューイタヤ	JR宇都宮駅 西口徒歩5分	
					028-635-5515	028-633-3772
6	9月17日	土	北陸ブロック	長野市 ホテルメトロポリタン長野	JR長野駅 善光寺口徒歩1分	
					026-291-7003	026-291-7007
7	9月24日	土	福島県	郡山市 ホテルプリシード郡山	JR郡山駅 西口徒歩4分	
					024-925-3411	024-922-2200
8	9月25日	日	北海道・東北ブロック	仙台市 仙台サンプラザ	JR仙台駅 東口徒歩13分	
					022-257-3333	022-257-3331
9	9月25日	日	新潟県	新潟市 東映ホテル	JR新潟駅 万代口徒歩5分	
					025-244-7101	025-241-8485

大学見学会

～1都8県の新入生の保護者と支部役員158名が参加～

父母の会は、6月18日(土)・25日(土)に大学の協力を得まして新入生の保護者を対象としました大学見学会を開催しました。

実施した支部は、18日は神奈川県・千葉県・静岡県・山梨県の4支部が、25日は東京都・埼玉県・福島県・茨城県・栃木県の5支部で、支部役員含め158名の方々に参加頂きました。



学長による近況報告



就職支援課



情報メディアセンター



図書館



学食体験

内容は、支部会がそれぞれの教室に別れて11時から始まり参加者の自己紹介を行った後、大学施設見学に入り、今回は就職支援課、図書館、情報メディアセンターを見学して頂きました。

昼には学生食堂で学生たちが日頃食べている定食を食べる学食体験をしていただきました。昼食終了後大学の近況報告を18日は学長が25日は理事長から行い、その後、新入生の保護者が関心のある「4年間の学びについて」教務委員会による説明があり14時頃より個別相談会に入り15時に解散となりました。

郷土企画

～今年度は14支部が提供～

各支部が学生食堂で学生たちに郷土の名産品を提供するもので平成17年度にスタートしました。

今年度は、既に5月・6月・7月に6支部が実施し学生たちに喜んでいただきました。

10月以降の予定は右表の通りです。日程や物品は変更になることがあります。

なお、郷土企画案内は食堂に掲出する父母の会からの案内ポスターでお知らせいたします。



平成23年度 郷土企画実施予定

	支部名	提供物品	カテゴリー	数量
5月27日(金)	神奈川県	タカナシ飲むヨーグルト	乳製品	792個
6月8日(水)	近畿・中国・四国ブロック	稚鮎・香梅煮	魚類	500匹
6月15日(水)	茨城県	レタスサラダ	野菜	
6月23日(木)	北海道・東北	つや姫げんまいちゃ	飲料	600本
7月7日(木)	栃木県	レモン牛乳 イチゴ牛乳	飲料	レモン 400本 イチゴ 200本
7月14日(木)	千葉県	落花生ダクワーズ	菓子	500個
10月5日(水)	山梨県	甲州ぶどう(10月上旬)	果物	
10月14日(金)	北陸ブロック	レタスサラダ	野菜	
11月8日(火)	福島県	父母懇談会で確定		
11月16日(水)	群馬県 茨城県	キャベツサラダ 納豆	野菜	
11月24日(木)	埼玉県	川越ロマン	菓子	500個
12月7日(火)	新潟県	岩船産コシヒカリ	米	
12月22日(水)	静岡県	みかん	果物	
1月12日(水)	東京都	プリン	菓子	800個

*茨城支部の納豆は10月以降に延期

編集後記

▼クォーターリー高千穂33号をお届けします ▼東日本大震災の影響は予想以上に大きく、特に福島原発の事故により、東京電力管内の本学でも更なる節電を求められています。これから益々暑くなる中でエアコンの利用を控えていくことは、熱中症などの危険もありますので、服装だけでなく水分や塩分をしっかりと摂ることを心がけ健康に注意してください ▼春学期の授業が終了し定期試験が始まります。本年度から定期試験・追試験の制度が変わりますので、本号の注意事項や履修要項などを確認して試験に臨んでください ▼本号の表紙には学生会で定期的に実施している「クリーンアップキャンペーン」の参加者を掲載しています。学内や通学路の清掃を行っていますが、ゴミやタバコの吸い殻が捨てられている状況はなかなか改善されていない様子でした。富士山が世界遺産に登録されない理由にはゴミのポイ捨て、つまり不法投棄が挙げられているそうです。様々なエコが必要な今こそ自分の生活を改めて見直して行きたいと思います。(編集室)

編集委員

- 編集長 古崎信彦
- 委員 高橋 拓
- 深津 剛





喫煙に関するルールについて

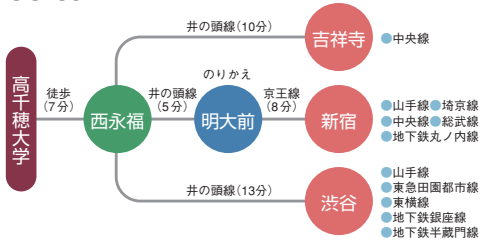
本学キャンパスのある杉並区では、条例により区内全域で、歩きたばこや吸い殻のポイ捨てを禁止（一部の路上禁煙地区では条例違反者から過料を徴収）しています。

本学においても、構内の指定された場所以外での喫煙は禁止とし、また、通学路等での喫煙についても歩きたばこや吸い殻のポイ捨てについては厳重に注意を与えています。

しかし、いまだにルールを守らない喫煙者が多く見受けられ、非喫煙者のみならず近隣住民の方々、ルールを守って喫煙している人にも多大な迷惑を掛けることとなっています。

高千穂大学の学生として、節度ある行動をとり喫煙マナーの向上を心がけてください。

ACCESS



- 山手線・新宿駅または渋谷駅から西永福駅（井の頭線）まで13分（新宿駅からの場合は、明大前のりかえ）
- 中央線・吉祥寺駅から西永福駅（井の頭線）まで10分
- 西永福駅から本学まで徒歩7分

CAMPUS MAP



✉ soumu@gac.takachiho.ac.jp